

平成19年度 大阪樟蔭女子大学 公開講演会

近松の世界

『曾根崎心中』

を中心に



【講師】阪口弘之氏 大阪市立大学名誉教授

【とき】9月29日(土)

14:00~16:00(開場 13:30)

【ところ】大阪樟蔭女子大学

小阪キャンパス(近鉄奈良線「河内小阪」駅下車徒歩3分)

【受講料】無料 【対象】一般成人及び学生

【申込み方法】ハガキ又はFAXに以下の事項をご記入の上、お申込下さい。

*参加タイトル名 *氏名(ふりがな) *郵便番号・住所・電話番号

※なお、受講許可書はお送りしませんので当日会場へお越しください。

申込締切/平成19年9月20日(木)必着

【申込み先】〒577-8550 東大阪市菱屋西 4-2-26

大阪樟蔭女子大学 国文学研究室

☎ 06-6723-8292

FAX 06-6723-8154

主催:大阪樟蔭女子大学 主管:大阪樟蔭女子大学学芸学部国文学科

平成19年度 大阪樟蔭女子大学公開講演会

近松の世界 『曾根崎心中』を中心に

本学では、地域の人々に親しまれる、開かれた大学を目指し、従来から公開講座や市民セミナー、公開授業などを実施しております。

「公開講演会」は、本学学芸学部の各学科が中心となり、計画する講演会です。各学科の特徴を生かしたテーマを選び、各分野でご活躍の講師をお招きし、市民の皆さんがお気軽に参加頂ける企画をしてみたいと思います。

今回は、「近松の世界『曾根崎心中』を中心に」と題して、第一線でご活躍なさっておられる阪口弘之先生にご講演頂きます。皆様のご来場をお待ちしております。

【講演内容】

歴史ドラマとしてあつた浄瑠璃に、当代市井人をはじめ主人公に据えたのは、元禄16年(西暦1703年)5月、大坂竹本座初演の『曾根崎心中』であった。世話物の誕生である。

近松世話物の主人公は、ひとしく愚かしき人物である。しかし、それ故にこそ、またいとおしきものなのだという近松の深い思いが横たわる。近松の人間理解に思いをやりながら、今や世界の古典と呼ばれる『曾根崎心中』を、ドラマツルギーという観点から読みといていきたい。

【講師】阪口弘之 氏 (さかぐち ひろゆき)

大阪市立大学名誉教授。神戸女子大学教授。文学研究科長 兼 古典文学研究センター長。
著者に、『古浄瑠璃正本集』第7～第10(角川書店)、『浄瑠璃の世界』(世界思想社)、新日本古典文学大系『古浄瑠璃 説経集』(岩波書店)、新編日本古典文学全集『近松門左衛門集』①～③(小学館)、『関蝉丸神社文書』(和泉書院)など。

【申込方法】

ハガキ又はFAXにて

①近松の世界『曾根崎心中』を中心に

②氏名(ふりがな)

③郵便番号・住所・電話番号

を明記の上、お申込下さい。

※なお受講許可証はお送りしませんので、当日会場までお越し下さい。

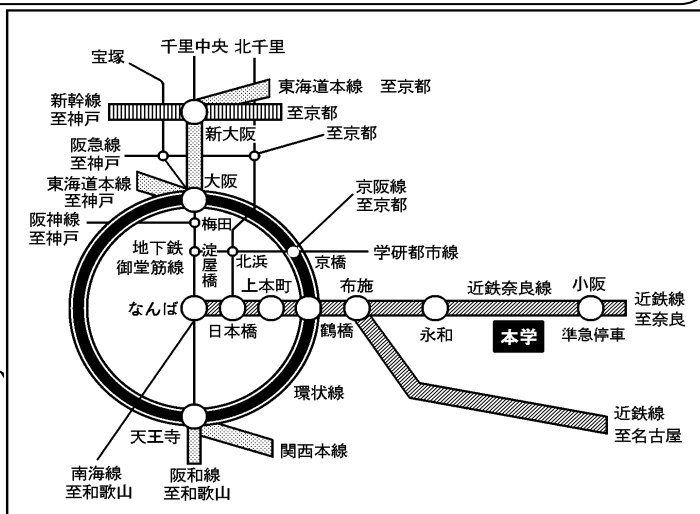
〒544-8550

東大阪市菱屋西 4-2-26

大阪樟蔭女子大学学芸学部国文学科

FAX ⇒ 06-6723-8154

締切:平成19年9月20日



近鉄奈良線小阪駅下車 西へ300メートル 徒歩3分

●大阪から……30分 ●なんばから……20分 ●天王寺から……25分

《※駐車スペースが御座いませので、車でお越しはご遠慮下さい。》

個人情報取り扱いについて

* 受講のお申込に対し、ご提供頂いた個人情報につきましては、適切な方法で管理し、受講者の同意なしに第三者への開示・提供は致しません。